

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年01月17日

計画の名称	茨城栃木交流圏域における観光振興による広域的地域活性化												
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	茨城県												
計画の目標	茨城県東北・県西地域と栃木県東・県南地域においては、豊かな自然や多様な観光地が数多く分布している一方で、人口減少や少子高齢化が顕著で、地域の活力が減少しているところである。このため、観光バスなどの大型車のすれ違いが困難な幅員狭小箇所や見通しの悪い箇所の道路整備を実施し、茨城・栃木両県境に広がる観光圏域へのアクセス性を高めることにより、当地域の広域的な観光振興を促進させ、地域の活性化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,414	A	5,394	B	0	C	20	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0.36	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	茨城栃木交流圏域内の拠点施設の観光客数を777万人(H26)から836万人に増加させる 計画地区内の観光客総数 茨城栃木交流圏域内の拠点施設の観光客数総計	777万人	806万人	836万人
2	茨城県交流圏域内の拠点施設の観光客数を422万人(H26)から459万人に増加させる 茨城交流圏域内の拠点施設の観光客総計	422万人	440万人	459万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-001	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	国道	改築	一般国道294号	現道拡幅 L=1.4km	筑西市						290	-	
	A11-002	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	常陸太田那須烏山線	バイパス整備 L=1.5km	常陸大宮市						500	-	
	A11-003	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(一)下檜沢上小瀬線	バイパス整備 L=3.7km	常陸大宮市						750	-	
	A11-004	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(一)阿波山徳蔵線	バイパス整備 L=1.9km	城里町						486	-	
	A11-005	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(主)笠間小川線	現道拡幅 L=3.4km	城里町						400	-	
	A11-006	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(一)岩瀬二宮線	バイパス整備 L=1.1km	筑西市						416	-	
	A11-007	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(一)舟玉川島停車場線	バイパス整備 L=1.4km	筑西市						368	-	

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	A11-008	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(主)常陸那珂港山方線	バイパス整備 L=1.9km	常陸太田市						350	-	
	A11-009	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(一)諸沢西金停車場線	バイパス整備 L=0.8km	大子町						200	-	
	A11-010	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	国道	改築	一般国道118号	バイパス整備 L=1.0km	大子町						550	-	
	A11-011	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	国道	改築	一般国道123号	現道拡幅 L=0.6km	常陸大宮市						150	-	
	A11-012	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	国道	改築	一般国道355号	バイパス整備 L=0.7km	笠間市						788	-	
	A11-013	道路	一般	茨城県	直接	茨城県	都道府 県道	改築	(一)高田筑西線	バイパス整備 L=0.8km	筑西市						146	-	
												小計						5,394	
											合計						5,394		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
広域連携事業	C11-001	提案	一般	茨城県	直接	茨城県	-	-	広域周遊観光ルート検討 調査	調査	県北・県央・県 西地域						10	-	
		-																	
	C11-002	提案	一般	茨城県	直接	茨城県	-	-	広域周遊観光ルートプロ モーション	リーフレット等作成	県北・県央・県 西地域						10	-	
		-																	
												小計						20	
											合計						20		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

土木部道路建設課にて評価を実施。

事後評価の実施時期

中間：平成31年3月実施 事後：令和4年1月実施

公表の方法

茨城県ホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

一般県道294号（A11-001）や（一）下檜沢上小瀬線（A11-003）、（一）諸沢西金停車場線（A11-009）などの整備が完了したことで、北関東自動車道などの高規格幹線道路から観光拠点施設へのアクセス性が向上したことにより、観光客数の増加が図られた。
【参考指標】栃木県からの観光客数推移（全県） + 31%（平成26年度 平成30年度）

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

要素事業：A11-001 一般国道294号	拠点施設：宮山ふるさとふれあい公園 整備効果：栃木県真岡市方面からの移動時間が約1分短縮
A11-003 （一）下檜沢上小瀬線	拠点施設：常陸大宮温泉施設群 整備効果：栃木県那須烏山市方面からの移動時間が約2分短縮
A11-012 一般国道355号	拠点施設：笠間工芸の丘 整備効果：栃木県小山市方面からの移動時間が約1分短縮
A11-013 （一）高田筑西線	拠点施設：しもだて美術館 整備効果：栃木県真岡市方面からの移動時間が約1分短縮

特記事項（今後の方針等）

・未着手、未完成の事業については、引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し、計画的に事業を執行し更なる周遊観光の活性化と共に観光客の増加を図りたい。
・効果促進事業においては、計画期間内に未着手、未完成の事業が複数あったことから、観光ルートの検討調査等が実施できなかった。今後も栃木県との連携体制を継続していき、広域周遊観光ルートを形成していく。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	836万人	栃木県において、平成28年に「烏山の山あげ行事」のユネスコ無形文化遺産登録と道の駅「ましこ」がオープンしたことや、茨城県においても、平成28年に常陸大宮市や常陸太田市で相次いで道の駅がオープンしたことで、栃木県北・県東及び茨城県北の観光客が増え、周辺の拠点施設にも相乗効果により増えたものと考えられる。【参考】栃木県北・県東及び茨城県北エリア内拠点施設の観光客伸び率：+2.7%（平成26年度 平成30年度）
	最終実績値	914万人	
2	最終目標値	459万人	-
	最終実績値	461万人	